

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2025年09月30日

事業所名：児童発達支援 A to Z Academy児童発達支援・放課後等デイサービス

対象人数（保護者）14人 回答者数 11人 回収 78.6%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1			もちろん、もっと広ければ色々な事が出来ると思いますが、この見渡せる教室の広さが、子供同士のトラブルや、先生方や子供達の相性によるトラブルなどを皆の目があるという事で、防ぐきっかけにもなっていると思います。自分が子供を預ける時は、死角がないと、安心して預ける事が出来ます。よって今がベストだと思っています。	子供たちが安心して参加できる空間になるよう工夫してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		1	子どもが毎日楽しそうに過ごしている点から、環境は適切だと感じています。ただし、先生方のご負担が大ききようであれば、短時間勤務の先生を増やすなど体制の工夫も必要かと思います。	適切な職員配置と人材育成に努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11				シェルターになりそうなマットなどもあるので、よく分かりませんが適切なのではと思います。	子どもたちが過ごしやすい空間作りに取り組みます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11				前に説明等でうかがった時はとても綺麗でした。	日々の清掃や環境整備を徹底し、子ども達が安心して活動できる快適な空間づくりに努めてまいります。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				言葉も、沢山でるようになってるので、そうだと思います。	専門職員が分析を行い、今後も個別支援計画を作成してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1				子どもたちに合わせた支援内容を日々作成していきます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1		1	言葉もですが、小学生に向けて心配だった、プリント学習や日直など実施していただいていた、とても助かっています。	お子さまの特性や保護者様の声を踏まえ、客観的な分析のもと個別支援計画を作成・見直ししていきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			2	毎回丁寧なフィードバックをいただきますし、それが支援になっていると思います。	ガイドラインを踏まえ、必要な支援項目を設定し具体的な支援につなげていきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			2		計画に基づき、日々の活動や支援を一貫して実施していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1			子供は飽きずにずっと楽しんでいるので、工夫されているのでは、と思います。	子どもの興味や成長に合わせ、活動内容に変化や工夫を取り入れていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5		2	4	各家庭で、という事であれば、他の子どもとの交流の機会はあります。	地域交流や他施設との連携を通して、子ども同士の関わりを機会を設けていきます。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					運営規程や支援内容、利用者負担について丁寧に説明していきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10			1		計画を示しながら、支援内容について丁寧に説明してまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6		1	4		家族支援プログラムや研修会、情報提供の機会を設け、ご家庭への支援にも取り組んでまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	10	1			毎回送り迎えの際に色々聞いていますし、HUGでもやりとりがあるので、共通理解はあると思います。	日々の様子を共有し、健康や発達の状況を保護者と共に理解してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1	1		Q15と同じですが、送迎時の話しやHUGのアプリで支援になっていると思います。	定期的な面談や助言を通じて、子育て支援を行ってまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					お子さまや保護者に寄り添い、共感的な支援を心がけて保護者同士やきょうだいの交流機会を設け、家族への支援を行ってまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	1	3	自分自身が保護者会など苦手なので、ない方がよいと思っています。兄弟がいないので、支援については不明です。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			1		相談体制を整備し、周知・説明の上で、迅速かつ適切に対応してまいります。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					丁寧な情報伝達と配慮をもって、意思疎通を図ってまいります。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信していますか。	10			1		通信やSNS等を通じて、活動や評価の情報を発信してまいります。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					個人情報を適切に管理し、十分に留意してまいります。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			2		各種マニュアルを策定・周知し、訓練を実施してまいります。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2				定期的な訓練を実施し、非常災害に備えてまいります。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					安全確保の計画を周知し、十分な体制で支援を行ってまいります。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1		2		事故発生時には速やかに連絡し、状況を丁寧に説明してまいります。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	11					安心して通所できる環境づくりに努めてまいります。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	11				保育園や幼稚園は行き渋りがありましたが、A to Zの日は、「やったー！」と言い、通所の準備も早いです。子どもが安心して通っており親も嬉しく思います。とてもとても楽しみにしています。いつも、本当に感謝しています。	楽しみに通っていただける環境を整えてまいります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	10	1			小学生に向けて、座学などもありがたいですし、遊びながらの運動なども、勉強になりますし、何より前より沢山話すようになりました。本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。	ご満足いただける支援を提供していきます。